

### 外部評価軽減要件確認票

【重点項目への取組状況】

重点項目	事業所と地域とのつきあい（外部評価項目：2）	評価
	地域とのふれあいを重視し、地域行事の新年会や合同防災訓練にも参加した。町内会の回覧版で、地域の情報を入手することが可能となっている。	
重点項目	運営推進会議を活かした取組み（外部評価項目：3）	評価
	規定に則った運営推進会議が開かれており、議事録からも活発な会議風景が見てとれる。また、詳細な疑義録からは、参加した家族の意識が“変わっていく”様子も分かる。	
重点項目	市町村との連携（外部評価項目：4）	評価
	市の担当者は運営推進会議へ常時出席しており、ホームの状態を把握している。これまでには地域包括支援センターとの接点がなく、管理者は包括支援センターとの連動を今後の課題に挙げている。	
重点項目	運営に関する利用者、家族等意見の反映（外部評価項目：6）	評価
	運営推進会議への家族参加が多く、「家族会」的な様相を呈する時もあり、家族にホームの取組みを理解してもらうための好機となっている。家族アンケートには、ねぎらいや称賛の声と併せ、さらなる改善を求める前向きな意見も寄せられた。管理者・職員は、これらの声をホーム運営に活かそうとしている。	
重点項目	その他軽減措置要件	評価
	「自己評価及び外部評価」及び「目標達成計画」を市町村に提出している。	
	運営推進会議が、過去1年間に6回以上開催されている。	
運営推進会議に市町村職員等が必ず出席している。		
総合評価		

【外部評価で確認されたこの事業所の特徴】

<p>運営推進会議の開催毎に詳細な議事録が作成されており、会議を適切に開催・運営することでホームの提供するサービスの質の向上を図ろうとしている。</p>
--

1. 外部評価軽減要件

別紙4の「1 自己評価及び外部評価」及び「2 目標達成計画」を市町村に提出していること。

運営推進会議が、過去1年間に6回以上開催されていること。

運営推進会議に、事業所の存する市町村職員又は地域包括支援センターの職員が必ず出席していること。

別紙4の「1 自己評価及び外部評価」のうち、外部評価項目の2、3、4、6の実践状況（外部評価）が適切であること。

2. 外部評価軽減要件 における県の考え方について

外部評価項目2、3、4については1つ以上、外部評価項目6については2つ以上の取り組みがなされ、その事実が確認（記録、写真等）できること。

外部評価項目	確認事項
2. 事業所と地域とのつきあい	<p>(例示)</p> <p>自治会、老人クラブ、婦人会、子ども会、保育園、幼稚園、小学校、消防団などの地域に密着した団体との交流会を実施している。</p> <p>地域住民を対象とした講習会を開催若しくはその講習会の講師を派遣し、認知症への理解を深めてもらう活動を行っている。</p>
3. 運営推進会議を活かした取組み	<p>(例示)</p> <p>運営基準第85条の規定どおりに運用されている。</p> <p>運営推進会議で出された意見等について、実現に向けた取り組みを行っている。</p>
4. 市町村との連携	<p>(例示)</p> <p>運営推進会議以外に定期的な情報交換等を行っている。</p> <p>市町村主催のイベント、又は、介護関係の講習会等に参画している。</p>
6. 運営に関する利用者、家族等意見の反映	<p>(例示)</p> <p>家族会を定期的（年2回以上）に開催している。</p> <p>利用者若しくは家族の苦情、要望等を施設として受け止める仕組みがあり、その改善等に努めている。</p> <p>家族向けのホーム便り等が定期的（年2回以上）に発行されている。</p>

(注) 要件の確認については、地域密着型サービス外部評価機関の外部評価員が事実確認を行う。